

2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年5月9日
東

上場会社名 株式会社サン・ライフホールディング 上場取引所
コード番号 7040 URL <https://sunlife-hd.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 比企 武
問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務支援本部長 (氏名) 黒崎 寿雄 (TEL) 0463-22-1233
定時株主総会開催予定日 2025年6月26日 配当支払開始予定日 2025年6月12日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月25日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	13,856	2.6	1,305	5.9	1,410	5.2	835	△25.1
2024年3月期	13,502	7.2	1,232	42.7	1,341	38.2	1,116	212.5

(注) 包括利益 2025年3月期 800百万円(△29.4%) 2024年3月期 1,133百万円(203.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	136.44	—	13.3	3.9	9.4
2024年3月期	182.27	—	20.2	3.6	9.1

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	36,157	6,604	18.3	1,078.34
2024年3月期	35,834	6,005	16.8	980.53

(参考) 自己資本 2025年3月期 6,602百万円 2024年3月期 6,003百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	1,362	△1,068	△198	10,413
2024年3月期	1,660	204	△490	10,319

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	16.00	—	17.00	33.00	202	18.1	3.6
2025年3月期	—	16.00	—	17.00	33.00	202	24.2	3.2
2026年3月期(予想)	—	16.00	—	17.00	33.00		23.5	

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,900	5.6	500	3.7	550	3.0	320	2.9	52.26
通 期	14,400	3.9	1,350	3.4	1,450	2.8	860	2.9	140.45

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期	6,820,000株	2024年3月期	6,820,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期	696,845株	2024年3月期	696,844株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	6,123,155株	2024年3月期	6,123,156株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用環境の改善が進み、個人消費の回復やインバウンド需要の高まりによって緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、ウクライナや中東の情勢不安の長期化によるエネルギー価格や原材料価格の上昇、および円相場の急変動や株式市場の混乱、世界的な金融引き締め政策により、国内景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

また、「2024年人口動態統計速報」によれば、2024年（1月～12月）の出生数は約72万人に対し、死亡数は約161万人と自然減が続き、「内閣府2024年版高齢社会白書（全体版）」によると、2070年にはわが国の人口は約8,700万人、75歳以上の人口比率が約25.1%と、総人口の減少及び一層の少子・高齢化が予測されております。

このような状況下、当社グループにおける各事業の取り組みと業績内容は以下の通りであります。

ホテル事業では、積極的な新規のご婚礼、ご宴会の獲得活動を継続して行い、さらにはローコストオペレーションを推進したものの、八王子ホテルニューグランドの閉業（2023年11月30日付）の影響等により、売上高は前期比15.6%減の974百万円、営業損失は13百万円（前期は28百万円の営業利益）となりました。

また、2024年9月に平塚市のホテルサンライフガーデンにおいて、施設リニューアルを行いました。外壁をはじめ、ロビーや宴会場をリニューアルしており、お客様に高い付加価値を感じていただけるようなホテル・ブライダル施設を目指してまいります。

式典事業では、業界再編による競合環境の激化や儀式儀礼の小規模化の流れの中、お客様からご用命いただけるよう企業基盤を強化していくことが求められております。そのような環境の中、当社グループはご葬儀、仏壇仏具、法事法要、埋葬や相続、生活サポートなど終活全般にわたり、お客様との長期間の関係作りを推進するため、集客型イベントの開催、広告による認知度向上策、ご相談体制の強化、ご提案内容の拡大、人材教育の強化、システム関連投資を行ってまいりました。2024年9月には昨今の家族葬ニーズに対応した施設展開として茅ヶ崎南口ファミリーホール（神奈川県茅ヶ崎市）を開業いたしました。また、2025年1月には高齢者世帯の方の身元保証や死後の事務手続き等をご家族に代わってサポートをする終活総合支援事業「ライフリリーフ」がスタートいたしました。

ご利用者様のサービス価値の創造、ご利用者様の利便性を高めてまいります。

その結果、ご葬儀件数が増加し、売上高は前期比4.4%増の10,198百万円、営業利益は前期比6.4%増の2,260百万円となりました。

介護事業では、サービス利用者の増加とサービス品質向上に努めました。施設の入居率、サービスご利用件数が回復したことにより、売上高は前期比5.5%増の2,163百万円、営業利益は前期比58.3%増の113百万円となりました。

その他の事業では、ハウスクリーニング事業において大型清掃等の高単価施行数が前期よりも減少したため、売上高は前期比0.7%減の519百万円、営業損失は31百万円（前期は19百万円の営業損失）となりました。

以上の結果、主要事業において、ご葬儀のご用命数が堅調に推移したこと、介護施設の入居者数の増加とサービスご利用件数が増加したことにより、売上高は前期比2.6%増の13,856百万円となりました。また、利益面につきましても、当初計画に沿った給与水準の引き上げ、特別休日の導入、待遇改善、人材育成等の人的投資における労務費の増加、並びに物価高騰による各種コストの増加もありましたが、営業利益は前期比5.9%増の1,305百万円、経常利益は前期比5.2%増の1,410百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期において一過性の固定資産売却益398百万円等があったことにより、前期比25.1%減の835百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産は、前連結会計年度末に比べ322百万円増加し、36,157百万円となりました。これは、現金及び預金の増加等による流動資産の増加245百万円、のれんの減少等による無形固定資産の減少189百万円、供託金の減少があった一方、投資有価証券の増加等による投資その他の資産の増加233百万円があったことによるものです。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ276百万円減少し、29,553百万円となりました。これは未払法人税等の減少があった一方、買掛金、未払金等の増加による流動負債の増加26百万円、前払式特定取引前受金の減少等による固定負債の減少303百万円があったことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ598百万円増加し、6,604百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益835百万円の計上及び配当金の支払202百万円等により利益剰余金が633百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金の減少34百万円があったこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は前連結会計年度末に比べ93百万円増加し、10,413百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果得られた資金は1,362百万円となりました。主な収入要因として、税金等調整前当期純利益1,342百万円、減価償却費531百万円、のれん償却費159百万円があった一方、主な支出要因として、前払式特定取引前受金の減少208百万円、法人税等の支払額374百万円等があったことが主たる要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果支出した資金は1,068百万円となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出527百万円、投資有価証券の取得による支出1,840百万円、保険積立金の積立による支出244百万円があった一方、供託金の償還による収入1,600百万円があったことが主たる要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果支出した資金は198百万円となりました。これは、配当金の支払額198百万円があったことが主たる要因であります。

(4) 今後の見通し

今後の我が国の経済見通しにつきましては、雇用環境や賃金引上げ等の所得環境が企業努力により改善し、各種政策の効果から緩やかに回復に向かうことが期待される一方、世界経済においては、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東地域をめぐる情勢等の地政学リスクに加え、資源・原材料価格の上昇や米国主導の関税問題等による為替相場の不安定により、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループ事業を取り巻く環境は、総人口の減少、少子高齢化、核家族化を背景に顧客の価値観とライフスタイル・ニーズが多様化される中、今後も更なる市場競争の激化が予想されます。

このような中、機動的かつ柔軟な経営判断を行い、顧客ニーズを的確に捉え、安全を確保しながら更なる顧客満足度の向上、新たな市場・顧客開拓を行い、企業価値の向上を目指してまいります。同時にコスト競争力の強化、危機管理体制の整備、コンプライアンス遵守といった取り組みを継続し、さらに、システム刷新による業務効率化の向上、人員体制の強化、福利厚生制度の充実による従業員満足度の向上を進め、経営基盤の強化を推進してまいります。

各事業別の戦略の方向性は以下の通りであります。

ホテル事業

- ・サービス品質（スタッフ教育、施設の魅力、ご婚礼サービス）向上とSNSツールによる効果的な情報発信
- ・社会や流行に基づくニーズに応じたお客様満足度向上（独自のオリジナルアイテム、プランの創出等）
- ・新規事業への参画、EC部門の新商品開発（オリジナル商材等）、販売の強化
- ・ザ・ウィングス海老名の活性化、経営黒字化の定着

式典事業

- ・インターネットや新規広報活動によるご用命件数の増加および顧客コミュニティの構築
- ・ご葬儀ブランド別の組織、アフターフォロー体制の確立、終活総合支援事業（ライフフリー事業）の拡充
- ・多様化する宗教ニーズへ対応した新商品開発販売の強化
- ・戦略的な新規斎場の出店及び改装計画
- ・採用、教育研修（1人3役による業務効率化（役割、業務内容別研修））制度の再整備
- ・霊園事業(60周年事業、多様なニーズに合わせた墓所、納骨堂の拡充)と既存事業とのシナジー強化

介護事業

- ・看護師、ヘルパーの確保、サービス提供体制の強化、人員供給体制基盤の構築（海外人材、新卒採用強化等）
- ・グループシナジー、施設の魅力を活かした入居営業強化と稼働率向上の推進
- ・収益性の向上（特定事業所加算取得等による単価アップ、経費削減他）
- ・シニアビジネス業容拡充に向けたM&Aの推進

その他の事業（互助会事業、少額短期保険業他）

- ・展示会、フェスタなどイベントおよび催事出店を通じた顧客基盤の拡大
- ・会員メリットの拡充と会員世帯数の増加、ご利用機会の促進
- ・ハウスクリーニングなど消費者ニーズに応じた付帯事業の商品・サービスの拡充

次期の連結業績予想につきましては、以上を踏まえ、売上高14,400百万円（前期比3.9%増）、営業利益1,350百万円（前期比3.4%増）、経常利益1,450百万円（前期比2.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は860百万円（前期比2.9%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は現在日本国内に限定されており、海外での活動がないことから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,577,996	10,674,493
売掛金	749,483	761,654
有価証券	309	317
商品	36,983	37,246
原材料及び貯蔵品	62,249	59,096
短期貸付金	16,351	14,781
預け金	51,564	48,740
その他	485,133	631,170
貸倒引当金	△1,972	△3,659
流動資産合計	11,978,098	12,223,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,177,255	18,372,083
減価償却累計額	△11,679,583	△12,015,950
建物及び構築物（純額）	6,497,671	6,356,132
機械装置及び運搬具	291,876	308,145
減価償却累計額	△249,508	△275,637
機械装置及び運搬具（純額）	42,368	32,508
工具、器具及び備品	2,249,993	2,290,750
減価償却累計額	△1,960,462	△2,039,660
工具、器具及び備品（純額）	289,531	251,090
土地	8,321,883	8,321,586
建設仮勘定	6,227	229,756
有形固定資産合計	15,157,681	15,191,075
無形固定資産		
のれん	844,790	679,930
その他	123,386	98,338
無形固定資産合計	968,177	778,268
投資その他の資産		
投資有価証券	2,009,481	3,800,131
長期貸付金	130,426	126,125
出資金	5,780	5,780
供託金	1,698,965	102,965
敷金及び保証金	2,640,837	2,669,372
保険積立金	130,272	374,767
繰延税金資産	1,038,441	810,120
その他	115,544	116,396
貸倒引当金	△38,823	△41,242
投資その他の資産合計	7,730,925	7,964,416
固定資産合計	23,856,783	23,933,760
資産合計	35,834,882	36,157,602

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	605,174	622,238
未払金	304,468	359,775
未払法人税等	235,281	92,871
賞与引当金	218,776	234,276
その他	1,080,638	1,162,071
流動負債合計	2,444,338	2,471,232
固定負債		
退職給付に係る負債	179,406	171,535
長期末払金	107,258	10,525
前払式特定取引前受金	25,927,734	25,718,835
前受金復活損失引当金	46,382	35,936
繰延税金負債	852,709	873,884
その他	271,881	271,573
固定負債合計	27,385,373	27,082,291
負債合計	29,829,712	29,553,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	761,914	761,914
利益剰余金	5,761,929	6,395,329
自己株式	△685,696	△685,697
株主資本合計	5,938,148	6,571,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65,812	31,319
その他の包括利益累計額合計	65,812	31,319
非支配株主持分	1,209	1,212
純資産合計	6,005,169	6,604,078
負債純資産合計	35,834,882	36,157,602

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	13,502,022	13,856,017
売上原価	10,089,704	10,319,960
売上総利益	3,412,318	3,536,056
販売費及び一般管理費	2,179,579	2,230,670
営業利益	1,232,739	1,305,385
営業外収益		
受取利息	9,682	17,307
受取配当金	8,584	7,856
前受金月掛中断収入	21,473	20,723
不動産賃貸料	22,267	21,443
助成金収入	22,604	9,618
預り金取崩益	15,072	19,528
その他	50,469	29,090
営業外収益合計	150,155	125,568
営業外費用		
不動産賃貸費用	5,959	5,352
前受金復活損失引当金繰入額	26,780	10,506
貸倒引当金繰入額	5,776	-
その他	3,177	4,672
営業外費用合計	41,694	20,531
経常利益	1,341,200	1,410,422
特別利益		
固定資産売却益	398,246	639
受取保険金	4,143	211
資産除去債務戻入益	110,461	-
特別利益合計	512,851	851
特別損失		
固定資産除売却損	54,082	36,574
投資有価証券評価損	3,999	-
減損損失	-	11,632
特別功労金	-	23,266
和解金	2,191	3,600
特別損失合計	60,273	75,073
税金等調整前当期純利益	1,793,777	1,336,200
法人税、住民税及び事業税	332,901	236,075
法人税等調整額	344,742	264,658
法人税等合計	677,643	500,734
当期純利益	1,116,134	835,466
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	51	2
親会社株主に帰属する当期純利益	1,116,082	835,463

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	1,116,134	835,466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,679	△34,493
その他の包括利益合計	17,679	△34,493
包括利益	1,133,813	800,973
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,133,762	800,970
非支配株主に係る包括利益	51	2

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	761,914	4,847,911	△685,696	5,024,129
当期変動額					
剰余金の配当			△202,064		△202,064
親会社株主に帰属する当期純利益			1,116,082		1,116,082
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	914,018	—	914,018
当期末残高	100,000	761,914	5,761,929	△685,696	5,938,148

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	48,132	48,132	1,157	5,073,420
当期変動額				
剰余金の配当				△202,064
親会社株主に帰属する当期純利益				1,116,082
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	17,679	17,679	51	17,731
当期変動額合計	17,679	17,679	51	931,749
当期末残高	65,812	65,812	1,209	6,005,169

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	761,914	5,761,929	△685,696	5,938,148
当期変動額					
剰余金の配当			△202,064		△202,064
親会社株主に帰属する当期純利益			835,463		835,463
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	633,399	△0	633,398
当期末残高	100,000	761,914	6,395,329	△685,697	6,571,546

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	65,812	65,812	1,209	6,005,169
当期変動額				
剰余金の配当				△202,064
親会社株主に帰属する当期純利益				835,463
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△34,493	△34,493	2	△34,490
当期変動額合計	△34,493	△34,493	2	598,908
当期末残高	31,319	31,319	1,212	6,604,078

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,793,777	1,336,200
減価償却費	552,121	531,518
減損損失	-	11,632
のれん償却額	159,305	159,305
特別功労金	-	23,266
和解金	2,191	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,161	△7,871
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,958	4,105
賞与引当金の増減額(△は減少)	18,799	15,500
前受金復活損失引当金の増減額(△は減少)	1,364	△10,445
受取利息及び受取配当金	△18,267	△25,164
受取保険金	△7,065	△211
有形固定資産除売却損益(△は益)	△344,163	35,934
投資有価証券評価損益(△は益)	3,999	-
助成金収入	△22,604	△9,618
売上債権の増減額(△は増加)	△127,119	△12,171
棚卸資産の増減額(△は増加)	△612	2,889
仕入債務の増減額(△は減少)	26,926	17,064
未払金の増減額(△は減少)	△21,663	26,091
前払式特定取引前受金の増減額(△は減少)	△326,720	△208,898
資産除去債務戻入益	△110,461	-
支払利息	201	-
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△36,694	△192,585
その他の流動負債の増減額(△は減少)	294,165	74,089
その他	1,021	1,828
小計	1,855,621	1,772,460
利息及び配当金の受取額	14,316	25,917
保険金の受取額	7,065	211
利息の支払額	△201	-
和解金の支払額	△20,000	-
特別功労金の支払額	-	△120,000
助成金の受取額	22,604	9,618
法人税等の支払額	△300,403	△374,748
法人税等の還付額	81,067	49,399
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,660,071	1,362,859
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△569,822	△527,742
有形及び無形固定資産の売却による収入	426,976	818
投資有価証券の取得による支出	-	△1,840,306
投資有価証券の償還による収入	500,000	-
供託金の預入による支出	△508,000	△4,000
供託金の返還による収入	-	1,600,000
定期預金の払戻による収入	330,012	-
定期預金の預入による支出	△30,000	-
貸付けによる支出	△4,807	△1,826
貸付金の回収による収入	17,336	7,697
保険積立金の積立による支出	-	△244,494
その他	42,672	△58,562
投資活動によるキャッシュ・フロー	204,369	△1,068,416

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△202,229	△198,270
自己株式の取得による支出	-	△0
短期借入金の増減額(△は減少)	△288,000	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△490,229	△198,271
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,963	△2,491
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,378,174	93,679
現金及び現金同等物の期首残高	8,941,149	10,319,323
現金及び現金同等物の期末残高	10,319,323	10,413,003

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取扱うサービス別に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、これらを基礎とした事業の種類別かつエリア別セグメントから構成され、経済的特徴の類似性等を勘案し、事業セグメントを集約した「ホテル事業」、「式典事業」、「介護事業」の3つを報告セグメントとしております。

「ホテル事業」では、ご婚礼、ご宴会及びご宿泊のサービス並びにECサイト、フォトスタジオの運営等を行っております。「式典事業」では、ご葬儀、ご法要、エンバーミング（ご遺体衛生保全）のサービス、ペットのご葬儀、霊園の管理及び仏壇店の運営を行っております。「介護事業」では、在宅介護サービス及び介護付き有料老人ホーム、住宅型有料老人ホームの運営を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務諸 表計上額 (注) 4
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,154,844	9,773,090	2,050,837	12,978,772	523,250	13,502,022	—	13,502,022
セグメント間の内部 売上高又は振替高	130,070	27,497	679	158,247	35,915	194,163	△194,163	—
計	1,284,914	9,800,588	2,051,516	13,137,020	559,165	13,696,186	△194,163	13,502,022
セグメント利益又は損 失(△)	28,064	2,124,195	71,730	2,223,989	△19,752	2,204,237	△971,498	1,232,739
セグメント資産	728,781	15,804,572	1,919,868	18,453,223	1,933,652	20,386,876	15,448,006	35,834,882
その他の項目(注) 5								
減価償却費	28,710	453,555	25,834	508,100	738	508,839	43,282	552,121
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	15,774	471,586	5,972	493,333	887	494,220	52,191	546,411
のれんの償却額	—	128,845	29,996	158,841	463	159,305	—	159,305

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、少額短期保険業、清掃業他が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△971,498千円には、セグメント間取引消去51,430千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,022,929千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント資産の調整額15,448,006千円の内容は、セグメント間取引消去△277,410千円、各報告セグメントに配分していない全社資産15,725,417千円であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社固定資産であります。

その他の項目の減価償却費の調整額43,282千円は全社資産に係る減価償却費であります。また、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額52,191千円は、全て全社有形固定資産及び無形固定資産であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

5 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、長期前払費用に係る金額が含まれております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務諸 表計上額 (注) 4
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	974,449	10,198,403	2,163,750	13,336,604	519,412	13,856,017	—	13,856,017
セグメント間の内部 売上高又は振替高	150,963	24,634	31	175,629	33,759	209,388	△209,388	—
計	1,125,413	10,223,037	2,163,781	13,512,233	553,172	14,065,405	△209,388	13,856,017
セグメント利益又は損 失(△)	△13,033	2,260,183	113,553	2,360,704	△31,786	2,328,918	△1,023,532	1,305,385
セグメント資産	893,542	16,088,915	1,682,997	18,665,454	1,739,662	20,405,117	15,752,484	36,157,602
その他の項目(注) 5								
減価償却費	29,942	433,803	27,826	491,573	1,002	492,576	38,941	531,518
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	138,414	373,194	21,396	533,006	2,916	535,922	11,397	547,320
のれんの償却額	—	128,845	29,996	158,841	463	159,305	—	159,305

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、少額短期保険業、清掃業他が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,023,532千円には、セグメント間取引消去52,573千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,076,105千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント資産の調整額15,752,484千円の内容は、セグメント間取引消去△351,399千円、各報告セグメントに配分していない全社資産16,103,884千円であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社固定資産であります。

その他の項目の減価償却費の調整額38,941千円は全社資産に係る減価償却費であります。また、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額11,397千円は、全て全社有形固定資産及び無形固定資産であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

5 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、長期前払費用に係る金額が含まれております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	消去又は全社	合計
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計			
当期末残高	6,076	5,555	—	11,632	—	—	11,632

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	消去又は全社	合計
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計			
当期末残高	—	737,620	104,583	842,203	2,586	—	844,790

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	消去又は全社	合計
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計			
当期末残高	—	603,219	74,587	677,809	2,123	—	679,930

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	980.53円	1,078.34円
1株当たり当期純利益	182.27円	136.44円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,116,082	835,463
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,116,082	835,463
普通株式の期中平均株式数(株)	6,123,156	6,123,155

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2024年3月31日)	当連結会計年度末 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	6,005,169	6,604,078
純資産の部の合計額から控除する金額(千円) (うち非支配株主持分(千円))	1,209 (1,209)	1,212 (1,212)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	6,003,960	6,602,865
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の 数(株)	6,123,156	6,123,155

(重要な後発事象)

該当事項はありません。